令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　6　月　8　日　作成

事務事業名	ふれあいまつり補助事業	事務事業No.	415 - 1

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
経済部	農林振興課	農政係	主事	阿部　加菜	課長	古江　敬輔

施策体系				
総合計画	政　策	4	地域経済
	施　策	1	農林業の振興
	基本事業	5	ブランド化による農産品消費の拡大
その他の計画	個別計画		なし
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市単独農業振興事業費補助金交付要綱		

事業開始年度	H13	事業終了年度	－	事務事業類型	ソフト事業
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	－

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		JAふくおか嘉穂主催のふれあいまつりの開催費用の一部を補助する事業。
対象	働きかける相手・もの	JAふくおか嘉穂主催のふれあいまつり
手段	方法・働きかけ（活動指標）	補助金の交付
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	ふれあいまつりの実施

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
補助金額	千円	ふれあいまつりに対する事業補助	405	405	405

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
イベントへの来場者数	人	10,000	目標値	10,000	10,000	10,000
説明	方向性	達成目標年度	実　績	13,000	13,000	
－	維持	毎年度				

指標	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
			目標値			
説明	方向性	達成目標年度	実　績			

指標	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
			目標値			
説明	方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	－

予算科目・事業	会計	1	一般会計	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
	大	2	農業振興事業費	中	4	ふれあいまつり補助事業費			他	0	事業	

投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）	（R2以降）	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
	正職員	0.06	人	489	0.07	人	595		0.07	人	595
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
会計年度	1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
会計年度	1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
会計年度	2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
人件費計（A）				489			595	－			595
事業費	直接事業費（B）			405			405				405
事業費	総事業費（A＋B）			894			1,000				1,000
直接事業費のうちの主な歳出内訳	補助金			405			405				405
直接事業費のうちの主な歳出内訳	－			0			0				0
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）			0			0				0
財源内訳	国・県支出金			0			0				0
財源内訳	市債			0			0				0
財源内訳	一般財源			894			1,000				1,000
財源内訳	その他（　　）										

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	JAふくおか嘉穂が主体となって実施しているが、地域農業の活性化を目的とし、出品を行う生産者の意欲向上にもつながっており、市の支援は妥当である。
効率性評価	高い	農業者とのつながりが深いJAふくおか嘉穂が主催し、市は開催経費の一部補助を行っているが、主にJAふくおか嘉穂負担で行っていることから効率化の余地はない。
有効性評価	高い	開催することで、地域農業の活性化を図ることができ、出品を行う生産者の意欲向上にもつながっているため、市の農業に対する有効性は高い。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	JAふくおか嘉穂との連携の円滑化(書類のやり取りの方法等)
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	JAふくおか嘉穂とのイベント内容の協議及び開催に係る周知活動
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

ふれあいまつりの開催を通じて、市内外の方々に市内に農畜産物のPRをすることができた。

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】　数多くの方が来場し、地産地消の推進及び市内外の方々への十分な農畜産物のPRに繋がった。

【課題】　地産地消の推進は、地域農業の活性化や生産者の所得確保につながるため、継続して本事業が実施できるよう財源確保に努めたい。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	【理由】
現状維持	ふれあいまつりを毎年継続的に開催することで、地域農業の活性化につながるため現状維持とする。
コスト投入の方向性	**【理由】**
現状維持	JAふくおか嘉穂主催の事業であり、地域農業の活性化につなげるために市として一部補助を行う必要があるため、現状維持とする。

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	JAふくおか嘉穂との連携の円滑化（書類のやり取りの方法等）
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	補助対象事業者であるJAふくおか嘉穂と協議し、集客確保のため、市報、SNS等を活用した周知活動を検討する。 地産地消の推進を目標とする飯塚市地産地消推進協議会等と連携し、市内外の方々に向けた農畜産物のPR活動や消費拡大について検討する。

2次評価（最終評価）	**成果の方向性** **縮小**	来場者数や直売所売上の増加（通常営業比約1.5倍）など一定の集客効果があり、地産地消の推進・農家所得の向上に寄与している側面はあるものの、積算根拠がなく定額補助としていることは適切ではない。補助金交付による成果を精査する必要がある。
	コスト投入の方向性 **縮小**	全体事業費に占める関係市町の補助の割合は2割弱にとどまり、主催者（JA）による自立的な運営が可能と考える。補助金交付の成果を検証する中で、定額補助から事業費補助への組み替えを行うなど、市が負担すべき経費を明確化する必要がある。